

港内作業許可申請書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

高松港長 殿

申請者 住所 香川県高松市〇〇町〇丁目〇番〇号
氏名 〇〇調査株式会社高松支店
取締役支店長 〇〇 〇〇

1 種類

海上ボーリング作業

2 目的

高松港〇〇岸壁築造工事の事前調査を目的としたボーリング櫓設置による地質調査。（発注者：香川県土木部港湾課）

3 期間及び時間

令和〇年1月1日から令和〇年1月31日までの間
（予備日 令和〇年1月20日から令和〇年1月31日）
作業時間 日出から日没までの間

4 区域又は場所

高松港〇〇岸壁前面海域
高松港玉藻防波堤灯台から〇〇〇度〇〇〇mのボーリング地点を中心とした半径〇〇〇mの円内海域（位置図参照）

5 方法

- 陸上で組み立てたボーリング櫓を高松港〇〇岸壁にて起重機船により積み込み、同船により現場海域まで吊り運搬します（曳航全長〇〇m）。
- 陸上基点からボーリング位置を測量し、起重機船により設置します。
- ボーリング櫓上から海底下〇〇mまで掘削し、土質サンプルを採取します。

- (4) ボーリング櫓は、作業終了次第、直ちに起重機船により撤去し、搬出した岸壁へ陸揚げします。

6 危険予防の措置

(1) 標識の設置

- ① 起重機船による作業時、同船の投錨位置には橙色玉ブイを設置します。
- ② ボーリング櫓の四隅には標識灯（〇〇〇製、〇〇型、灯色黄色、4秒1閃光、光達距離〇Km）を設置し、ボーリング三脚の頂部には赤旗を掲揚します。

(2) 安全対策

- ① 作業の現場責任者を配置のうえ作業全般を監督し、事故防止を図ります。
- ② ボーリング櫓設置及び撤去作業中は、警戒船〇隻を配備し、接近船舶があればVHF無線機、赤旗、拡声器等により注意喚起します。

専従警戒要員 氏名 〇〇 〇〇

業務講習受講年月日及び番号 〇年〇月〇日 高松第〇〇〇〇号

- ③ 気象・海象を十分把握し、荒天が予想される場合又は次の基準に達した時には作業を中止します。

作業中止基準

風速 毎秒〇〇m以上

波浪 〇m以上

視界 〇km以下

- ④ 台風接近又は風速〇〇m以上、波高〇m以上の荒天が予想される場合には、事前にボーリング櫓を撤去し、〇〇岸壁へ陸揚げします。
- ⑤ 付近海域を通航する船舶に対しては、別添リーフレットを作成し、別添関係先へ周知することとします。
- ⑥ 事故発生等の緊急時には、応急措置を講じるとともに、別添「緊急連絡先系統図」により、速やかに高松海上保安部へ連絡し指示を受けることとします。
- ⑦ 磁気探査は、令和〇年〇月〇日に実施しており、異常がなかったことを高松港長へ報告しています。
- ⑧ ボーリング作業中は、櫓上にブルーシートを養生し、回収缶を備え置いて作業に伴って発生する汚泥、油、廃棄物等は全て回収のうえ、陸上にて適正処理します。
- ⑨ 作業許可書又は写しを現場に携行し、その許可内容を常に確認できるようにします。
- ⑩ 許可内容に変更が生じる場合には、事前に許可申請を行います。
また工事完了次第、速やかに完了届を提出します。

7 緊急連絡系統

別添「緊急連絡系統図」のとおり

8 連絡先

〇〇調査(株)高松支店

現場責任者 〇〇 〇〇

TEL 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇〇 (昼間)

TEL 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇〇 (夜間)

9 添付書類

- ① 位置図
- ② 作業状況図
- ③ 施設の状況図
- ④ 緊急連絡系統図
- ⑤ 使用船舶一覧（又は「船舶検査証書・海技免状」の写し）
- ⑥ 警戒船講習（管理・業務）受講証明書の写し
- ⑦ 施工体制図等の協力業者一覧
- ⑧ 契約書又は発注証明書の写し等